

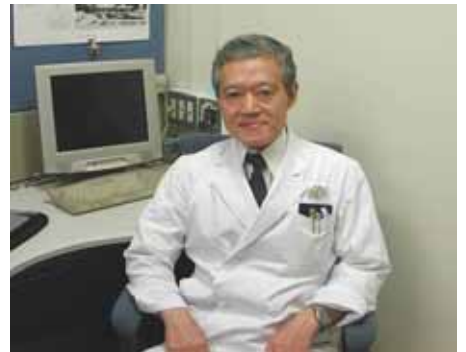


発行責任者：歯学部長 宮崎 隆，編集責任者：広報委員長 佐藤裕二
〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8 TEL 03-3784-8000
ホームページ：<http://www.showa-u.ac.jp>

巻頭言 『麻酔の日』に想う。

歯科麻酔科教室 吉村 節 教授

2004年10月14～16日の3日間，和歌山県立医科大学の主催で日本臨床麻酔学会が開催されました。『華岡青洲』が，地元和歌山において，自身で開発した，朝鮮アサガオを主成分とする『痛仙散』を用いて，世界ではじめて全身麻酔下に乳癌摘出術に成功したのが，まさにちょうど200年前の1804年10月13日のことで，記念すべき大会でした。日本麻酔科学会では，この偉業をたたえて，10月13日を『麻酔の日』に制定しています。



200年の間に，麻酔は目覚しい進歩を遂げました。歯科においても，『局所麻酔が効いている間の痛み』を取り去ることはほぼ確実に出来るようになりました。しかし，患者さんはそれで満足しているのでしょうか？ 多くの患者さんは，歯科治療は痛いから，怖いから苦手だという意識をもっています。なぜでしょうか？ その背景には，麻酔をされるときの痛みとストレス 痛みではないが，頭に響く切削器具の振動と音 無防備な状態で口腔内に侵襲を加えられる潜在的な恐怖感などがあり，われわれ歯科医師はその解決策を患者さんに示していないといえます。

「痛くなければそれでよい」という時代は20世紀で終わりを告げました。今は『アメニティー』が求められる時代です。歯科治療においても，患者さんは『楽に，快適・安全に』ストレスフリーに歯科治療が受けられることを望んでいます。それをかなえる手段が，歯科麻酔科医が行う鎮静法です。

われわれが行う最新の静脈内鎮静法は，新しく開発された薬剤，モニター類，シリンジポンプを駆使することにより，自在に鎮静の深さをコントロールするのが特徴です。ほぼ100%の患者さんに満足していただくと自負しております。平成11年から，一般歯科治療の患者さんを対象に，1Fの多目的診療室や，ご要望により各診療科にも出張しております。ぜひ，患者さんに快適で質の高い歯科治療を受けて頂くことをお勧めします。

口腔微生物学教室主任教授に五十嵐武先生がご昇任 広報委員長 佐藤裕二

10月20日付でご昇任されました。次号でご挨拶を頂く予定です。

入試案内

学部長 宮崎 隆

7月31日と9月4日に歯科病院にて進学相談会が行われました。皆様のご協力で参加者は昨年度よりも30名程度増え，合わせて150名弱となりました。また高校訪問をお願いした皆様には，暑いさなか多くの高校で広報活動をいただきました。皆様のこのような地道なご協力が質の高い受験生を増やし，昭和大学歯学部の発展につながってまいります。ご協力をいただいた教職員の皆様には，この場を借りて厚くお礼申し上げます。

さて，いよいよ11月17日の推薦・編入学入試を皮切りに平成17年度の入試が始まります。今年度の推薦入試では，基礎学力テストが行われます。試験科目は英語・数学・理科（物理・化学・生物から1科目選択）の合計3科目で，試験時間も120分です。編入学試験も基礎学力テストが実施されますが，英語または数学と理科（物理・化学・生物から1科目選択）の合計2科目で，試験時間も90分となっておりますので，ご注意ください。この他，平成17年度入試は大阪試験会場の設置等いろいろ変更点がございます。教職員各位におかれましては，ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

試験	募集人員	出願期間	試験日	合格発表
推薦	25名	H16.11.1 - 11.10	H16.11.14(日)	H16.11.17(水)
編入	若干名	H16.11.1 - 11.10	H16.11.14(日)	H16.11.17(水)
センター	10名	H17.1.4 - 1.22	H17.1.15(土),16(日),H17.1.29(土)	H17.2.4(金)
選抜 期	53名	H17.1.4 - 1.22	H17.1.29(土)	H17.1.31(月)
選抜 期	8名	H17.2.14 - 3.1	H17.3.6(日)	H17.3.8(火)

10月2日(土)午後1時30分～午後5時、富士吉田校舎で公開講座が開催されました。講師は2人でタイトルは以下の通りでした。

失われた歯と健康を取り戻す

佐藤裕二(歯学部高齢者歯科学教授)

背骨の病気 - その症状, 診断, 治療について -

森下益多朗(藤が丘病院整形外科助教授)

歯学部からは平成8年の南雲正男教授以来の講師でした。参加者は47名でしたが、ほとんどの方がリピーターであり、高齢者が多く、熱心に聴講され、多くの質問も出ました。



大学院・歯学研究科, 歯学研究科社会人特別選抜入試 研究科運営委員長 立川 哲彦

平成17年度の大学院歯学研究科第一期入学試験, 大学院歯学研究科社会人特別選抜入学試験ならびに平成16年度大学院秋期語学試験(乙)が9月25日(土)に旗の台校舎にて実施されました。試験は午前中に語学試験(科学英語と一般英語の試験)と午後から専攻する専門科目の面接試験が行われました。第一期入学試験受験者は20名で、基礎専攻科目受験者は1名、臨床専攻科目受験者は19名でした。社会人特別選抜は17年度から開講する歯学部大学院の新しい研究科で、1名が受験いたしました。合格発表は10月21日に行われ、全員合格いたしました。また、助手、特別研究生および普通研究生が歯学博士の申請資格を得るために、語学試験に合格することが義務付けられていますが、その語学試験も同時に行われ、9名(基礎系4名、臨床系5名)が受験し、6名が合格されました。

期入学試験および社会人特別選抜試験は平成17年2月19日(土)に行われます。

D1 早期体験実習

D1 早期体験実習担当責任者 向井 美恵

医療人としての人間関係を築く基本的態度を身につけ、社会の多様な場における歯科保健・医療に対応できる能力を養うために、世代や生活環境の異なる人々の生活を通して社会保障などの社会制度や生活環境を知り、生活者としての人の口腔を中心とした健康と疾病と社会における歯科医療の役割を理解することを目標に10月4日から8日まで早期体験実習が行われました。実習先は甲州リハビリテーション病院, 特別養護老人ホーム「寿ノ家」, 「コスモ」, 「快晴苑」, 介護老人保健施設「甲州ケア・ホーム」, 甲府養護学, かねて養護学校, 障害児通園施設「つつじが崎園」, 養護施設「希望の家」の9施設から各自2施設が指定され、同一施設で2日間ずつ実習を行いました。

最終日の実習を総括するSGD(スモールグループディスカッション)および実習報告会では、苦しくも楽しい早期体験実習に学生の満足感が漂った発表がなされ、学生の相互評価で最優秀グループが選ばれました。

朝7時にバスで吉田の寮を出発し、夕方6時頃に帰るハードスケジュールでしたが、実習施設の大変なご協力によって、事故もなく全員無事に実習を終了することができました。交通手段の手配やSDGの教室準備など実習期間を通じて教務課の皆さんの大変な努力と協力によって本実習を無事終了できたことをこの場をお借りしてお礼申し上げます。



施設での職員とのふれあい



SGD

学会開催

- ・南雲正男会長(顎口腔疾患制御外科学教授):
第41回日本口腔組織培養学会総会, 2004.11.20, 新高輪プリンスホテル
問い合わせ先: baiyo@senzoku.showa-u.ac.jp, 準備委員長: 岩瀬正泰先生



報道された歯学部

広報委員長 佐藤裕二

- ・久光教授 10月8日(金)TV東京, 23:00からのWBS(ワールドビジネスサテライト)ニュース後 放映

台湾における昭和大学歯学部OB会

歯科理工学教室 宮崎 隆

去る9月17日から20日まで、榎教授と台湾の高雄で開催された中華牙医学会総会に参加し、本歯学部の歯科矯正学教室で勉強した留学生有志と交流を深めてきました。今年度の中華牙医学会の会長は、松本光吉教授と親交のある藍教授で、榎教授と私のほかに、日本から多くの講演がありました。高雄は台湾で二番目に大きい工業都市で、港が見える漢来大飯店が会場でした。歯科は勢いがあるようで、展示会場は超満員でした。高雄では許為勇先生が歓待してくださいました。19日の夜には、矯正科に初めて留学した蘇志鵬先生が台北在住のOBを集めて歓迎会を開催し、日本の思い出や台湾の歯科事情などを語りながら交流を深めました。そして、名簿を整理して、昭和大学OB会を発足することになりました。この会には、台北医科大学歯学部の林学部長と大学院の李科長、さらに客員教授を務めている日本大学松戸歯学部の安孫子教授も参加してくださいました。

翌日、台北医科大学を訪問しました。本学同様に医学部、歯学部、薬学部、看護学部、そして公衆衛生・栄養学部を擁する医系総合私立大学で、歯学部は生体材料や生体工学を中心に台湾の歯学部の中で最も研究が活発です。既に、東京医科歯科大学、日本大学松戸歯学部、北海道医療大学などと交流プログラムを締結しているとのことで、今後本学部も交流を進めていきたいと考えています。長年、台湾の歯科教育にご尽力頂いた、福原、柴崎両名誉教授に厚く感謝申し上げます。



台北医科大学林学部長、李研究科長らと



OBの蘇先生、陳先生と

平成16年度上條奨学賞

研究活動委員長 上條 竜太郎

有益な学術研究業績ならびに学術研究に対して贈られる平成16年度上條奨学賞、および上條奨学賞（研究補助）の歯学部受賞者が決定しました。授賞式は12月4日の昭和歯学会例会において行われます。

本年度の上條奨学賞は口腔病理学教室の立川哲彦教授に授与されます。立川教授の研究課題は「口腔扁平上皮癌の浸潤転移における分子病理学的解析」です。立川教授は長年にわたり口腔扁平上皮癌の浸潤転移における遺伝子解析を進めてこられ、近年はレーザーマイクロダイセクション法をはじめとする様々な分子病理学的手法を応用して口腔癌の遺伝子診断の実用化に取り組まれています。その研究結果は、口腔癌の分野のみならず、広く癌研究者の注目を集めています。

一方本年度より、上條奨学賞（研究補助）については公募形式を採用し、応募者の研究業績（原著論文）を一定の基準で点数化して受賞者を決定する方式を採用しました。本年度は7名の応募者があり、厳正なる審査の結果、本年度は齶蝕・歯内治療学教室の木村裕一助教授（研究課題名は「レーザーの歯科保存学領域への応用」）に贈られることが決定しました。



認定医取得 おめでとうございます

広報委員長 佐藤裕二

- ・ 歯科麻酔科・岩崎多恵先生(日本歯科麻酔学会認定医)：認定医7名(指導医3名)となりました。
- ・ 高齢者歯科学講座・杉山一郎先生(日本補綴歯科学会認定医)：認定医7名(指導医3名)となりました。

PBLワークショップ(予告)

PBL委員長 中村 雅典

D2「口腔の生態系」PBL(12月2, 9, 13, 16日)実施の際、アデレード大学からDr. Tracey Winningが来学され、我々のPBLを見学される予定になっています。先生には13, 16日の両日、PBL終了後、シナリオ作成と評価についてご講演いただくことになっています。詳細につきましては改めてご連絡いたします。

去る9月25日(土), 歯科病院にてOSCEトライアルが実施されました。5年生88名(欠席1名)を対象に, 6課題(6ステーション)について, それぞれの課題を3人ずつで回る(3系列)方式がとられました。本学のスタッフ131名, SP 22名, 外部評価者として他大学から18名の参加となりました。

当日は, 正式な実施に向けての我々スタッフの緊張が学生さんにも伝わってしまったようではありますが, 終了後の共用試験機構オブザーバーの方々の印象は概ね良好でした。また, 学生諸君の感想からは, 「臨床実習に参加する」という心構えを持つための契機となったようです。

三ヶ月に渡る準備期間を通して, 教務課の古矢さんをはじめ, 各ステーション責任者の先生方のご努力には, 深く感銘を受けました。新しい白衣姿の学生諸君の輝きとともに, 歯学部未来に一条の光を見せて頂いたような気がします。最後に, 今後の検討課題として重要なものを下記に列挙させていただきます。

- 1) 全学部規模での準備, 学会等の日程調査。
- 2) 臨床各科の基礎実習の見直し(課題を含めた内容へ)。
- 3) 各講座の業務担当制を考慮した運営のシステム化。



CBTワークショップ

CBT委員長 中村 雅典

10月15日(金) 16日(土)の両日に渡り, 共用試験実施機構から道健一教授(本学名誉教授, 歯学系共用試験FD小部会(CBT)部会長), 小口春久教授(日本歯科大客員教授, 歯学系CBT試験実施小委員会委員長)のお二人をお招きし, 平成16年度昭和大学歯学部CBT試験問題作成ワークショップ「共用試験CBT連問形式問題(順次解答, 多選択肢)の作成法」を開催いたしました。本学のCBT問題採択率は残念ながら非常に好ましくない現状にあります。お二人には「順次解答2連問, 4連問形式(W, Q)問題作成方法」, 「多選択肢問題2連問, 4連問(L, R)形式の作成方法」とその「ブラッシュアップデモ」を中心にご講演いただき, その後, 参加者がグループに分かれて実際にこのワークショップのために各人が作成した問題のブラッシュアップ作業を行いました。作業終了後は機構側講師お二人を加えて全体でブラッシュアップをしました。1問につき, 1時間以上を費やす徹底したブラッシュアップでした。このワークショップを通して, 参加者はCBT問題採択における本学の現状を真摯に受け止めました。今後各教室で, CBT委員並びに今回の参加者が中心となって教室内での問題作成力の向上に努力していただくことを期待しております。

診療統計(平成16年9月分)

歯科病院長 川和忠治

区分	患者数(人)	1日平均(人)	前月1日平均(人)	前年同月1日平均(人)
外来患者延数	16,619	755.4	697.6	704.7
新患延数	1,121	51.0	51.5	51.9

行事予定

- 11月 2日 Townsend教授(アデレード大学)セミナー(旗の台1号館7F) 19:30~
- 11月14日 歯学部推薦・編入学試験
- 11月15日 創立記念日(生協より団体割引DisneySEAパス発売, 11月8日締め切り)
- 11月27日 父兄会
- 12月 3日 歯科病院ポーリング大会(五反田) 18:15~
- 12月 4日 昭和大学歯学会(歯科病院臨床講堂)
- 12月13日 大学院・研修医説明会(歯科病院臨床講堂) 16:30~
- 1月15-16日 センター試験
- 1月29日 選抜期・センター試験併用入試



編集後記

広報委員 馬谷原 光織(口腔組織学教室)

これまでは佐藤広報委員長の大変なご努力により発行されてまいりました「歯学部だより」を各教室の広報委員持交代で編集させていただいております。口腔組織学教室は若いスタッフばかりの教室で, 担当の私も17回生です, 各方面わからないことが多くご迷惑をおかけしましたが, 執筆をしていただいた先生方をはじめ広報委員また委員長佐藤先生の多大なご協力と指導のもと形にしていけることができました。この場をおかりしてお礼申し上げます。(次号は11月30日発行予定です)